

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

# CASBEE<sup>®</sup> 新築 [簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年追補版Ver.2 (BPI/BEI対応) 使用評価ソフト: CASBEE-Ncb\_2010bei&bpi(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ハイウェイテラス・京丹波	階数	地上1F
建設地	京都府船井郡京丹波町	構造	S造
用途地域	用途地域の指定のない区域	平均居住人員	0人
気候区分		年間使用時間	0時間/年
建物用途	物販店, 飲食店,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年3月 予定	評価の実施日	2014年3月31日
敷地面積	25,050 m <sup>2</sup>	作成者	(株)高松伸建築設計事務所
建築面積	3,306 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	2,792 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3** ★★★★★ ☆☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%

②建築物の取組み 85%

③上記+②以外の 84%

④上記+オフサイト手法 84%

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q のスコア = 3.1**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.7

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.8

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
懐かしいふるさとの古民家のモチーフと現代的な手法や素材を融合することによって、「こころのふるさと」京丹波町のシンボルであるとともに、京丹波町の新しい核であるところの施設の外観デザインを創出する計画とした。	屋根面に太陽光パネルの設置を計画した。	
<b>Q1 室内環境</b> 外部に面した開口部には、複層ガラスを採用。照明器具は、LED照明を採用した。	<b>Q2 サービス性能</b> 耐用年数の高い配管材を採用した。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 施設の中央の半屋外部分にシンボルツリーを植樹し、京丹波町の新たな核となる施設であることをシンボライズするよう計画した。
<b>LR1 エネルギー</b> 効率の良いビル用マルチエアコンを採用した。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> VOC発生のない材料 (F☆☆☆☆) を使用し、シックハウスを防止するよう計画した。	<b>LR3 敷地外環境</b> 電波障害の調査を行ない、施設周辺への影響を十分に精査し、必要な対策を実施する。雨水貯留槽を設置し、屋外緑地散水栓に供給するよう計画した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される